



# 羅針盤

\*コロナ対応の緊急事態宣言は5月末迄なっていますが、はっきりした終着目標の周知もないまま20日間の延長となりました。ここは最後の頑張りと思う方も、もう嫌！という方が入り交じり、結果、人の流れはそれほど減少していない様子です。ワクチン頼みの中、変異型の増加も考えると、今日一日無事に終わるといふ事が賭け事のように感じられます。昨年4月の宣言時に誕生した赤ちゃんはもう1歳になり、家族は早く祖父母に会わせたいと宣言解除の日を待ち焦がれています。そんな気持ちが晴れない中で梅雨の時期に入ります。関東の平年値は6月7日が梅雨入りで、今年は平年並みのこと。この「平年値」の算出方法が5月19日から変わりました。過去30年間の平均値を「平年値」として10年ごとに更新されており、5月19日以降は1991～2020年の観測値から新しい平年値が決まりました。近年は温暖化等で年々降水量が増えたり真夏日も続いていますので、この先10年間の「平均値」は、降水量は10%ほど多く、桜の開花日も以前より2、3日早くなるそうです。

## Market Forecasts by Y. san -6月-

## 5月予測の自己評価 鉄スクラップ; ○ 銅; ○ アルミ; ○

### 鉄スクラップ

### 銅

### アルミ

### 産業廃棄物

5月は東京製鉄宇都宮工場特別価格42,000円/トンでスタートし、最終的には48,000円/トンまで上昇しました。建築工事不振による解体工事の停滞により、スクラップの発生が減少している為、関東鉄源協同組合の輸出入札は13%上昇しましたが、6月は中国政府の鋼材価格の抑制によりかなり下がると考えられます。

5月はLME9,100ドル/トン、国内銅建値1,180,000円/トンでスタートし、10日には過去最高値を更新しました。終盤は下落しましたが、6月は世界最大の銅生産国チリで大型銅鉱山のストが行われる等があり、月初から上がると思われれます。

5月はLME2,250ドル/トン台からスタート、最終的には2,310ドル/トン台まで上昇しました。6月は中国の輸入規制問題で下げが予想されますが、品薄から横ばいと思われれます。

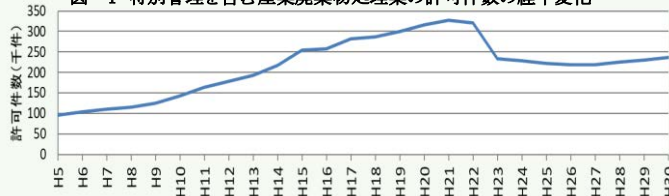
テレワークがどんどん進み、オフィスビルの建物解体件数の減少で、廃棄物の発生がますます減少しています。一部の処分場では値下げの声も出ていますが、値下げは結果的には命取り。無理な価格は続かないので下げるよりはサービス向上に力を入れたほうが良いでしょう。

## Topics

### データで見る 産業廃棄物処理業の許可等の状況

今回は、環境省の報道発表資料の最新版（令和3年5月17日発表）を参考に、産業廃棄物処理施設の設置、産業廃棄物処理業の許可等に関する状況を、昨年5月号掲載の最新版としてお伝え致します。特別管理を含む産業廃棄物処理業の許可件数を図-1に示します。許可件数が平成22年から23年で大幅に減少したのは、廃棄物処理法の改正により、許可が合理化されたことによります。

図-1 特別管理を含む産業廃棄物処理業の許可件数の経年変化



また、平成31年4月1日現在の産業廃棄物及び特別産業廃棄物処理業の許可件数の内訳を図-2と図-3で示します。（複数の許可を持つ業者についても項目ごとに積算、( )は前年比）

図-2 産業廃棄物処理業の許可件数(平成31年4月1日現在)

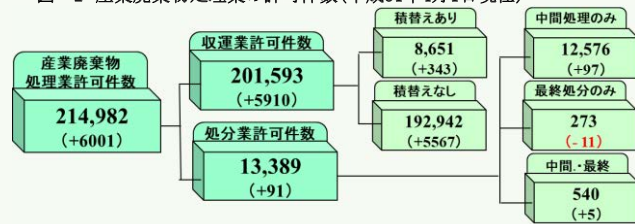
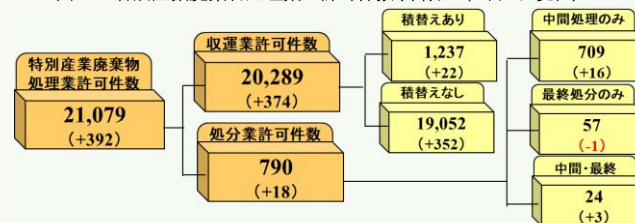


図-3 特別産業廃棄物処理業の許可件数(平成31年4月1日現在)



許可を受けた中間処理施設数は、全体で19,090 施設であり、前年度から17施設（前年度比約0.1%）の減少です。内訳は、木くず又はがれき類の破碎施設が約54%、汚泥の脱水施設が約15%、廃プラスチック類の破碎施設が約11%です。

## Series

## 私の休日（2）



生産技術部 大野敏明

2回目の投稿になります。今回は、趣味の家庭菜園について話したいと思います。

季節ごとに、旬の物を食したいと思い30代頃から家庭菜園を始めました。初めのころは、土を耕し種をまいてもまばらにしか発芽しなかったり、途中で虫に食われたり、上手く行きませんでした。簡単だからと言われ始めましたが、実際にやってみるとなかなか難しく管理も大変でした。水や肥料をやり過ぎたり、作物によって特性があることも知らなかったため、家庭菜園の本を読んだり友人に聞いたりしながら覚えて行きました。

今年2月中旬頃から、とうもろこし・かぼちゃ・ゴーヤ・瓜・トマト・ナス・きゅうり他の種まきをポットにし、5月に入って様子を見ながら畑に移植を行っております。日々水やり害虫駆除（無農薬栽培）をし、収穫を楽しみにしています。

この時期の野菜作りは、雑草との追いかっけこです。雨が降る度に雑草が育ち、草取りに追われますが、草取りを怠ると肥料の栄養が雑草にとられ育ちが悪くなってしまいます。家族が口にするものなので無農薬栽培にこだわりたいと思い、大変さを楽しむようにしています。次の季節に何を植えようか考えるのも楽しみのひとつです。

また、この時期は梅の収穫をし、夏を乗り切るため梅酢を造ります。収穫した梅を洗い、傷をつけ氷砂糖と酢で漬けるのですが、梅に傷をつける作業が大変です。ひとつに5・6箇所の傷をつけ一段ずつ容器に敷き込み氷砂糖を敷く作業の繰返しですが、出来上がった梅シロップを暑い日に炭酸で割り飲むと非常においしいのです。ぜひ、試してみてください。もう少し梅が明るんだら梅干し用に収穫し、梅干しを造りたいと思っています。

羅針盤が出るころには、梅干し造りも終わっているかもしれません。次回へつづく

▲ 新規に許可を受けた木くず又はがれき類の破碎施設は303 施設あり、新規に許可を受けた施設の半分以上を占めています。また、新規に許可を受けた焼却施設を図-4に示しますが、平成30年度は18 施設であり、前年度と比べて9 件増加となっています。

図-4 焼却施設の新規許可件数の経年変化

